



第53期
中間報告書

2014年4月1日－2014年9月30日



 ケル株式会社

証券コード6919

株主の皆様へ



代表取締役社長
土居 悦郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第53期第2四半期連結累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

当期間におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、一時的に個人消費の落ち込みが見られたものの、政府の経済政策や日銀による金融緩和策の効果から、企業収益の改善、設備投資の回復が見られ、景気は回復基調で推移いたしました。

一方、米国経済の堅調な成長により新興国経済も緩やかに拡大が続けていますが、ヨーロッパ情勢など、世界的な景気下振れリスクは残っており、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、今期は①工業・遊技・車載・画像・医療の5つの機器市場を注力市場とする②コネクタ・ラック・ハーネス事業の継続③売上高の30%を新製品で構成④連結子会社の機能強化、アジア市場の開拓推進⑤山梨・長野・南

アルプスの3事業所体制で生産性向上、原価低減を推進する。を基本方針に掲げ、海外市場、特にアジア市場の開拓をさらに促進し、注力市場に対し積極的に働きかけを行い受注獲得に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は47億41百万円、利益面につきましては営業利益5億15百万円、経常利益5億63百万円、四半期純利益3億79百万円となりました。

予測困難な現在の経営環境に対応するには、先を見据え競争に勝ち抜くための独自性を有する技術を持ち、変化に対応するためのスピーディーな行動力が求められます。「市場開拓活動＝新製品開発活動」を営業部門・技術部門で推進し「創造・創出」をキーワードに確実に成長できる会社を築いてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

経営成績

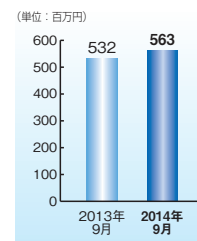
設備投資需要の回復を受け、工業機器・産業用機器・医療機器市場が好調に推移

- 遊技・車載機器市場減収も工業・画像・医療機器市場の増収により売上高前年同期比4.3%増加
- コネクタ売上高前年同期比7.6%増加
- ラック売上高前年同期比15.0%増加
- 生産性の向上によるコスト削減等により経常利益5.8%増加

売上高



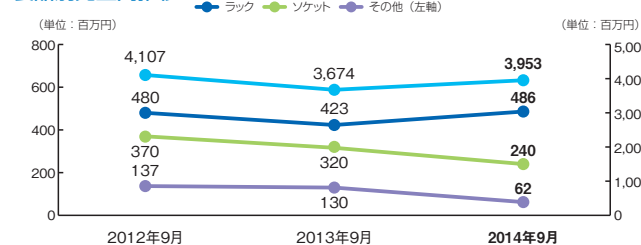
経常利益



四半期純利益



製品別売上高推移



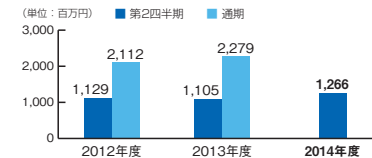
新製品開発・新市場創出を通じ、持続的な利益ある成長を目指す

- コネクタ事業・ハーネス事業・ラック事業の3事業を継続する
- 全売上高の30%以上を新製品で構成する
- 工業・遊技・車載・画像・医療機器市場を注力市場とする
- 海外連結子会社を機能強化しアジア市場の開拓促進する
- 山梨事業所・長野事業所・南アルプス事業所の3事業所体制で生産性向上・原価低減を推進する

市場別の状況

工業機器

制御装置
半導体製造装置
車輦機器

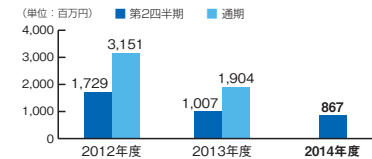


売上高構成比 26.7% 前第2四半期比 14.6%増

企業の設備投資の回復もあり、半導体製造装置、産業用機器向け製品の販売が増加したことにより、売上高は12億66百万円（前年同期比14.6%増加）となりました。

遊技機器

パチンコ
パチスロ

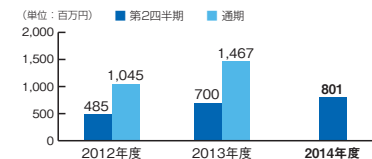
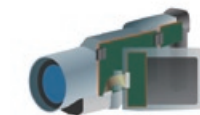


売上高構成比 18.3% 前第2四半期比 13.9%減

新台需要の低迷、リユース品の増加により、売上高は8億67百万円（前年同期比13.9%減少）となりました。

画像機器

デジタルカメラ
デジタルビデオカメラ
監視カメラ

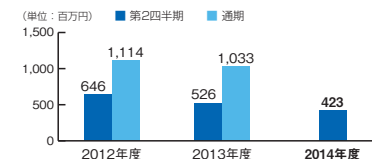
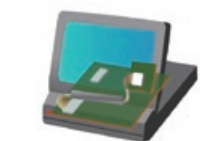


売上高構成比 16.9% 前第2四半期比 14.4%増

ビデオカメラ向け製品の販売が減少しましたが、一眼レフデジタルカメラ、監視カメラ向け製品の販売が増加したことにより、売上高は8億1百万円（前年同期比14.4%増加）となりました。

車載機器

カーナビ
ITS関連

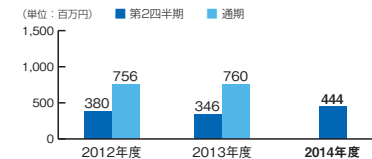


売上高構成比 8.9% 前第2四半期比 19.6%減

カーナビ向け製品の販売が減少したことにより、売上高は4億23百万円（前年同期比19.6%減少）となりました。

医療機器

超音波診断装置
内視鏡
MRI

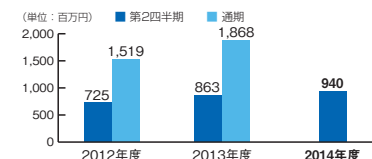


売上高構成比 9.4% 前第2四半期比 28.3%増

継続的な受注活動が結実し、堅調に推移したことにより、売上高は4億44百万円（前年同期比28.3%増加）となりました。

その他

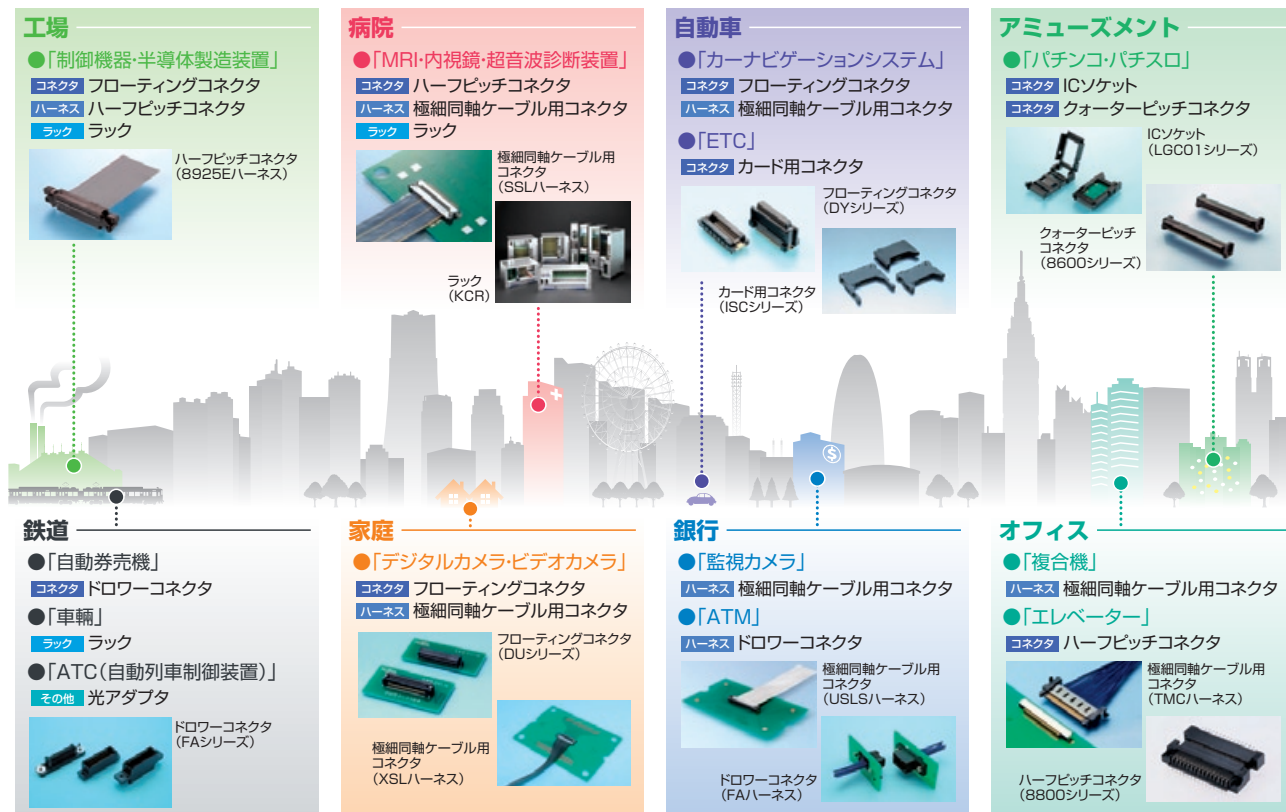
複写機他



売上高構成比 19.8% 前第2四半期比 8.9%増

売上高は9億40百万円（前年同期比8.9%）となりました。

当社の製品は生活のさまざまなシーンで使用されています。



製品カテゴリー

コネクタ

小型化、高密度化、高速伝送対応等を生かした開発コンセプトで、充実したバリエーションと多彩なシリーズを展開しています。



ハーネス

フラットケーブル、丸ケーブル、ディスクリートケーブルなど、さまざまなケーブルを使用したハーネスの開発を行っています。



ラック

標準バスラックシステムを中心に、オリジナルラックシステムの開発にも柔軟に対応しています。



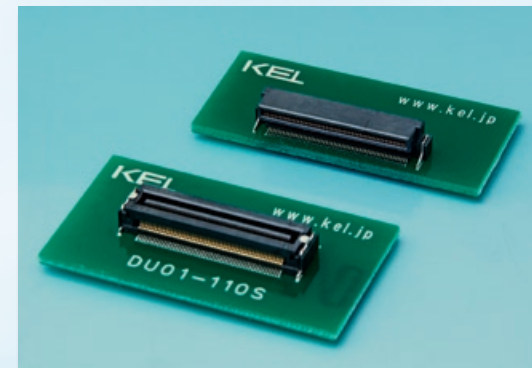
その他

光アダプタやASSY治具（圧接、圧着等）を製造しています。また、コネクタの抜き治具等の開発も行っています。

DUシリーズ 0.4mmピッチ基板対基板用 フローティングコネクタ

フローティングコネクタとは、基板にコネクタを実装する際に生じる縦横方向の誤差を吸収する機構（フローティング機構）を搭載したコネクタのことです。コネクタが可動することで嵌合時の誤差やズレを吸収することができ基板自体の破損を防ぐことができます。基板取り付け公差の吸収、同一基板に複数個の実装が可能、コネクタ半田付け部へのストレス軽減といったメリットがあります。

DUシリーズは0.4mmピッチと業界最小レベルのフローティングコネクタでありながらXY方向に±0.4mm可動するフローティング機構を搭載し高い接触信頼性を有したコネクタです。また、コンタクトは有効嵌合長1.2mmと高信頼設計で、接点形状は円弧形状とし、異物を噛みこみにくい形状としています。



主な特長

- **省スペース化**
プラグ側48%、レセプタクル側31%
基板占有面積を削減
(当社0.5mmピッチフローティングコネクタ比)
- **高い接続信頼性**
コンタクトをモールドのボックス形状により保護
- **多極に対応**
極数バリエーションは80、90、110、200極に対応
(順次バリエーション展開)
- **用途**
画像機器市場や車載機器市場等を中心とした、さまざまな機器への幅広いニーズに対応



四半期連結財務諸表（要約）

四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	前期末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	増減金額
<資産の部>			
流動資産	7,010,227	7,635,337	625,110
固定資産	6,143,835	6,225,660	81,825
有形固定資産	4,696,735	4,739,198	42,463
無形固定資産	60,655	66,598	5,943
投資その他の資産	1,386,444	1,419,863	33,419
資産合計	13,154,062	13,860,997	706,935
<負債の部>			
流動負債	2,350,279	2,826,706	476,427
固定負債	1,137,789	1,038,703	△ 99,086
負債合計	3,488,068	3,865,409	377,341
<純資産の部>			
株主資本	9,556,150	9,818,654	262,504
その他の包括利益累計額	109,843	176,933	67,090
純資産合計	9,665,994	9,995,587	329,593
負債純資産合計	13,154,062	13,860,997	706,935

四半期連結損益計算書

（単位：千円）

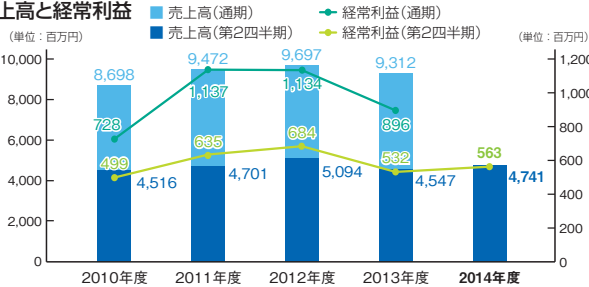
科 目	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	増減金額
売上高	4,547,491	4,741,383	193,892
売上原価	3,260,377	3,411,439	151,062
売上総利益	1,287,114	1,329,943	42,829
販売費及び一般管理費	780,738	814,211	33,473
営業利益	506,375	515,732	9,357
営業外収益	33,603	54,433	20,830
営業外費用	7,192	6,678	△ 514
経常利益	532,786	563,487	30,701
特別利益	－	29,935	29,935
特別損失	17	5,371	5,354
税金等調整前四半期純利益	532,769	588,051	55,282
法人税、住民税及び事業税	213,284	225,097	11,813
法人税等調整額	4,687	△ 16,144	△ 20,831
少数株主損益調整前四半期純利益	314,797	379,097	64,300
四半期純利益	314,797	379,097	64,300

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

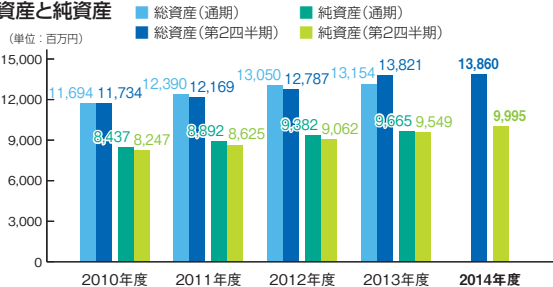
（単位：千円）

科 目	前第2四半期 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)	当第2四半期 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	755,777	738,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 715,330	△ 86,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 193,710	△ 238,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,930	△ 7,173
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 130,331	405,858
現金及び現金同等物の期首残高	2,352,871	2,314,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,222,539	2,720,074

売上高と経常利益



総資産と純資産



会社の概要・株式の状況（2014年9月30日現在）

会社概要

商 号	ケル株式会社
英 文 社 名	KEL CORPORATION
設 立	1962年（昭和37年）7月23日
資 本 金	16億1,700万円
従 業 員	276名
事 業 目 的	電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、化学製品、各種金属工業製品および雑貨類の製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務
ホームページ	http://www.kel.jp

役 員

代 表 取 締 役 社 長	土 居 悦 郎
常 務 取 締 役	島 田 明
取 締 役	白 倉 勝
取 締 役	三 國 武 幸
常 勤 監 査 役（社外）	菊 地 英 俊
監 査 役	橋 本 芳 明
監 査 役（社外）	泉 澤 大 介

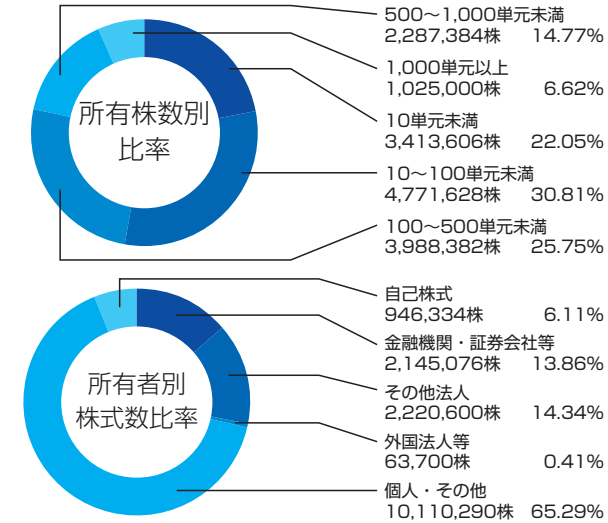
株式数および株主数

発行可能株式総数	63,000,000株
発行済株式の総数	15,486,000株
株主数	2,011名

株価の推移と出来高



株式分布状況



事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話(通話料無料)0120-232-711

単元株式数 1,000株

公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
(当社のホームページ
<http://www.kel.jp/investor/index.html>
に掲載しています。)

上場証券取引所 東京証券取引所 ジャスダック市場

ネットワーク

- 本社
東京都多摩市永山六丁目17番地7
〒206-0025 TEL：042-374-5810
- 事業所

山梨事業所	山梨県西八代郡市川三郷町
長野事業所	長野県北安曇郡池田町
南アルプス事業所	山梨県南アルプス市
- 営業所

宇都宮営業所	栃木県宇都宮市
水戸営業所	茨城県ひたちなか市
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区
大阪営業所	大阪府大阪市淀川区
- 駐在員事務所
北米駐在員事務所 米国カリフォルニア州
- 海外子会社
旺昌電子股份有限公司(ケル台湾)
科陸電子貿易(上海)有限公司(ケル上海)

ホームページのご案内



<http://www.kel.jp>

最新のニュースや企業情報、製品情報など、
様々な情報をご覧いただけます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。